



19ヶ国、30選手が所属する世界トップカテゴリーのUCIワールドチーム。

## ツアー・オブ・ジャパン閉幕 応援ありがとうございました！

5月21日に大阪で開幕した国内最大規模のステージレース「ツアー・オブ・ジャパン (UCI2.1)」が28日、大井埠頭での東京ステージをもってフィナーレを迎えました。若手選手で編成されたEFエデュケーション・NIPPOは、4名の日本人選手と2名のスイス人選手が出走。貴重な経験を積みながら、全選手揃って最終ステージを走り切ることができました。東京ステージでは吉川社長を筆頭に60名を超える大応援団が会場に駆けつけ、選手たちに励ましの言葉をかけてくださいました。また各会場でも大勢の方が応援にお越しくださり、チーム一同、温かいご声援に感謝しております。次戦は6月2日の古座川国際ロードレース、3、4日のツール・ド・熊野に参戦します。

ヨーロッパでも28日にジロ・デ・イタリアが閉幕。ワールドチームのEFエデュケーション・イージーポストは第8、10ステージで区間優勝を挙げ、山岳賞争いでも一時ベン・ヒーリーが首位に立つなど活躍し、今季最初のグランツールを走破しました。



雨に見舞われた第10ステージで逃げ切り、3選手でのスプリントを制して区間優勝を挙げたマグナス・コルト。コルトはこの勝利をもって、グランツールすべてでの区間優勝を達成しました。



第8ステージで独走勝利、その後もアグレッシブな走りを見せた22才のベン・ヒーリーが第16、17ステージで山岳賞リーダーに。最終盤の難関山岳でリーダージャージを失ったものの、春のアルデンヌクラシックに続き、グランツールでも素晴らしい才能を発揮。



この道の先に  
NIPPO

UCIワールドチーム直下、若手中心の育成チーム。2023シーズンは6名の日本人選手が所属。

DEVELOPMENT TEAM



信州飯田ステージでは逃げたフェリクス・スティリが区間6位、今季最高のパフォーマンスを発揮し、良い手応えを得ました。



国内レース初参戦となったベルギー育ちの橋川丈。最難関の富士山ステージでは区間27位、今後への期待が高まる力走を披露。



たくさんのNIPPO社員やご家族の方が東京ステージの会場にお越しくださいました！嬉しい1週間のレースを走り終えた選手たちにとって、最高の瞬間となりました。

MORE INFO > <https://teamnippo.jp>